

SDGS取り組み企業 にイソタビュー



地域をスポーツが変える

多様性の溢れる魅力

#006 「つながり」を叶えるスポーツ ウォーキングサッカー

WALKING SOCCER
JAINNWALKING FOOTBALL AS OCCIDENTALLY

SDGsに取り組むきっかけや今後の展開についてお話しを 聞きました。 社会課題の解決を考える、先端 ヘルスリテラシー&インクルーシブ 一般社団法人 日本ウオーキングサッカー協会 理事・統括執行役員・ スポーツディレクター スポーツスツーリズム推進機構登録団体 内閣府地方創生SDGS推進分科会 先端教育機構事業構想大学院大学 産官学連携プロジェクト連携団体 厚生労働省スマートライフプロジェクト参加 東京都推奨事業心のバリアフリー推進団体 東京都障害者スポーツ協会登録団体

佐藤光則 58歳 1965

東京都出身・ビジネスコンサルティング



Walking football

サッカーの母国、イギリス発祥のウオーキングサッカーは、 その名の通り歩きながらプレーするサッカーの総称、欧州 を中心に中東、南米、アフリカ、アジアオセアニアなど、世 界50カ国以上で推進、日本では2017年にJWFA日本 ウオーキングサッカー協会が設立されて以降、急速に普 及が進む、小さな子供から高齢者、障がいのある方も一 緒に楽しめるため、地域のコミュニティつくりやスポーツを 通じた健康増進を目指す、全国の自治体、企業や団体、 jクラブなどで新しい取り組みが始まっています。



自治体と企業、街を繋ぐユニバーサルスポーツを通じた企業版ふるさと納税 パートナーシップ推進

地方公共団体	— JWFA協会	_	企業	
健康街づくり、介護予防医療	(スポーツを通じた自治	体、企業とのハフ	「連携) 企業技術・アイデアリソース	
医療費削減、ヘルスリテラシー推進	(ウォーキングサッカー	健康プログラムゴ	【案) CSR, ESG投資推進	
健康意識改革、	スポーツエンターテイ	メントな企画で	社会的責任、社会貢献	
地域資源の活用、地域内外交流	県内外の交流、国際	親善交流	イメージ戦略、PR効果	
教育福祉、インクルーシブ推進	健康教室・ソーシ	ノヤル啓発	企業の健康経営、管理	
(地域コミュニティーの創出、人材育成	きょう 自治体と企業のハ	ブとしてパートナ	ーシップ 税制の特別優遇措置	
スポーツと都市計画、農業支援、移住	主 プロフェッショナルフ	アンバサダー活用	社内インクル―シブ教育	
地域が心のバリアフリーを意識した	観光インバウント	事業啓発	社内コミュニケーション向上	
地方創生プロジェクトの企画開発			企業版ふるさと納税寄付	

JWFAプロフェッショナルチーム アンバサダー



こにわ タレント・スポーツMC



マリーニョ 元プロサッカー選手



根津桂子 医師・スポーツドクター



染谷 施術家・クリニック院長

推進チームの構築



20XX Contoso のビジネス プラン

誰もが楽しめる"魔法のサッカー"の魅力が明らかになった。 ウォーキングサッカーとは、その名の通り歩いて行うサッカー

走らない(早歩きはセーフ)、相手との接触は禁止、ボールを約1.8m以上の高さに蹴り上げてはいけない、ヘディング禁止、オフサイドなしのルールで行われる。老若男女がプレー可能で、元」リーグチェアマンの川淵三郎キャプテンも愛好者の1人。

サッカーの母国イギリスでは2016年に協会が発足され、

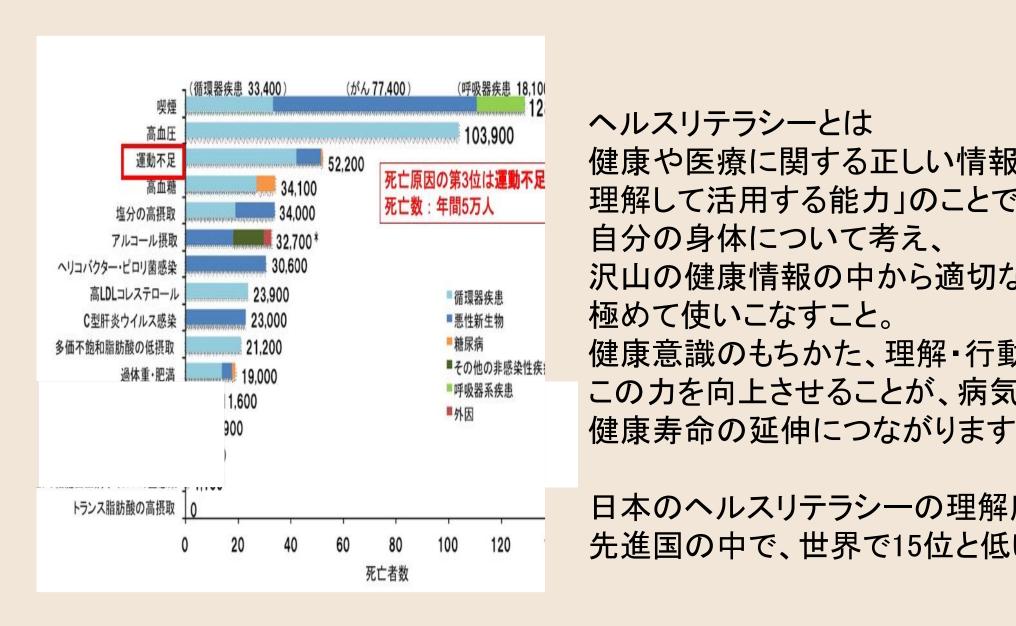
1200か所以上でプレーすることができ、約1000クラブが登録されている。国際連盟の設立、世界50カ国以上での普及、国際大会、ワールドカップが開催されるなど盛り上がりを見せる、

しかし、どうして"魔法のサッカー"と言われるのか?



日本が抱えるヘルスリテラシー インクルーシブ教育





ヘルスリテラシーとは 健康や医療に関する正しい情報を入手し、 理解して活用する能力」のことです。 自分の身体について考え、 沢山の健康情報の中から適切な情報を見 極めて使いこなすこと。 健康意識のもちかた、理解・行動変容 この力を向上させることが、病気の予防や

日本のヘルスリテラシーの理解度は 先進国の中で、世界で15位と低い現状



社会貢献活動の概念

JWFA協会は、ダイバーシテイ&インクルージョンの象徴として、歩くサッカーユニバーサルデザインのスポーツを通じて、世代や性別も超えて、歩くを根本的に見直しながら

未病(予防医療)効果的な運動環境の推進

人と人を繋げるきっかけ・ウエルビーイング的環境をデザイン

幸せの運動習慣(運動療育)ヘルスリテラシーを発信

それが私達の健康社会のイノベーションへきっかけとなり

健康意識の改革、行動変容へ繋がりますように活動します

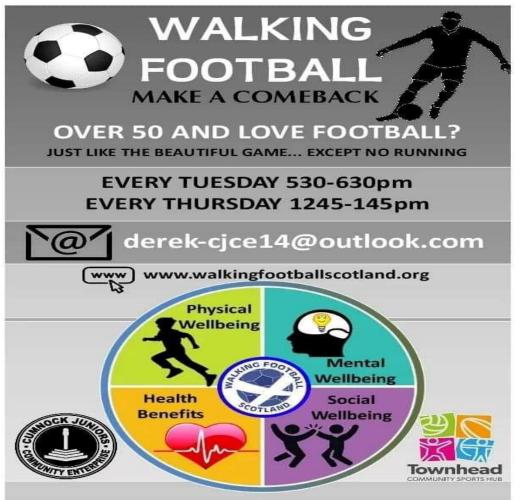
JWFA協会監修ウオーキングサッカー健康プログラミングとは 質の高い教育福祉の概念、コミュニケーションを伝えるコンテンツ、歩く練習で効率的な運動促進 ボールワークやゲームでリクレーションでウエルビーイング、又多様なスポーツ、アスリート、エンターテイメントビジネスがイノベーション実施出来ることで参加者の満足度になる

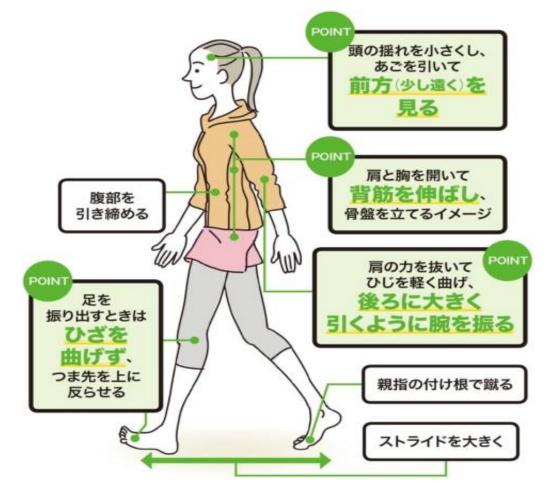






ウオーキングメサッカー





) のビジネス プラン

笑顔溢れるユニバーサルスポーツの可能性



インクルーシブ時代の社会的課題をスポーツのチカラで解決へ



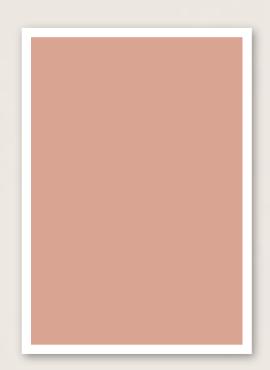
中央区 インクルーシブ歩くサッカー



埼玉草加特別支援学校 繋がり体験



錦糸町丸井 脳卒中フェスティバル



多彩なスポーツイノベーションのチャレンジ!







日本から世界へ発信!













ユニバーサルな現場指導のスキル、リスクと健康効果



リスク

普段から運動が出来ていない方、 苦手な方、子供達、女性や高齢 者及び障者や身体の疾患を抱 えている方への、指導アプローチ 方法が問われます。

誰でも出来るとは、その指導について、責任が生じるのではないか、安全、安心の意識がないなかで、運動のくリスクは重大な事故に繋がることを認識する

効果

有酸素運動と筋カトレーニングを同時に働く、歩くサッカーの健康プログラミングは、世界でも例をみない安全に最短で身体機能改善に至る、多様性溢れる運動療法の確立になる

運動不足、ストレス解消、

血流改善、筋力維持、

骨粗鬆症予防、認知症予防

推進

短期

地域でユニバーサルスポーツの運動環境推進

スポーツの価値高度化

産業開発、イノベーション

地域普及リーダー、ステー クホルダー、指導者養成

長期

企業の参入、取り組み、 健康経営、ヘルスリテラ シーのプロモーション 必要

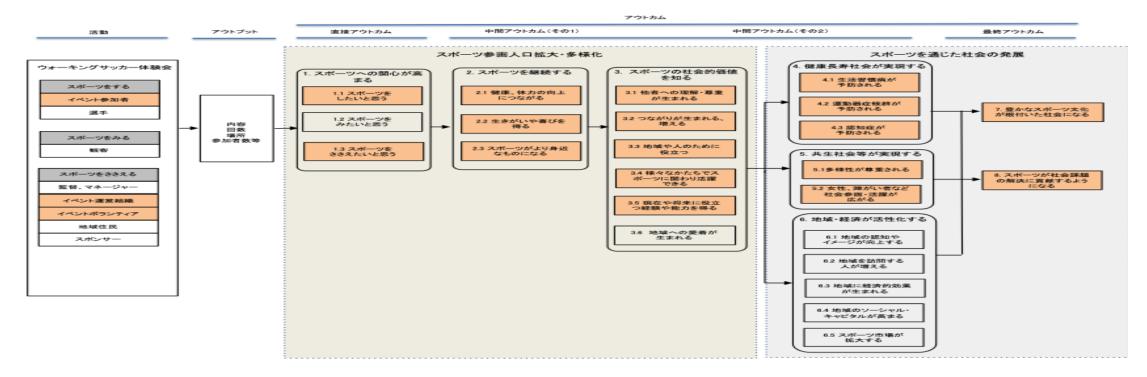
健康促進データー構築

各種学校、地域、自治体 企業等従業員への意識 改革を発信



ウォーキングサッカー体験会

ウォーキングサッカーとは、既存のサッカーのルールに「走ってはいけない」などの制限を加えた新しいスポーツです。サッカーの母国・イングランドでは、ベテランのサッカー愛好者を中心に広まっており、約1,000チーム以上が日常的に活動を行っていると言われています。ルールを工夫することで既存の競技スポーツの概念を拡張し、健康やコミュニティーづくりといった地域の多様な、社会課題解決に活用できるこのようなスポーツコンテンツは、社会的インパクトの高い、「オルタナティブスポーツ」とも呼ばれます。ここでは、様々なウォーキングサッカーの実施主体の中で、体験会の形でイベントを開催する場合を想定しロジックモデルを考えます。継続的に同じ拠点で繰り返し行われる事業の場合には、当然ながら既存の参加者に対するアウトカムは大きくなりますが、体験会の場合はスポーツ未実施層(運動習慣のないビジネスパーソンや、機会の少ない高齢者、障がい者等)に対して新たな機会を提供し、これに伴いスポーツを支える人を新たに獲得することによりスポーツ参画人口の増加に寄与するという特徴があります。地域が一つのスポーツをきっかけに、コミュニティを活性化、多世代が繋がることで、街の魅力を発信、地場産業、地域資源の活用、大手企業参入、ビジネス開発から、観光インバウンドの構築まで、多彩なイノベーションを、ふるさと納税、協賛、投資へ導きます



地方創生SDGs 油方創生SDGs 連携 プラットフォーム 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ありがとうございます

佐藤光則

JWFA

https://www.j-wfa.jp/



